

【ベトナム】国会・政府等の高官に対する「信任度投票」

海外立法情報課 藤倉 哲郎

* 2014年11月15日、国会・政府等の高官の信任度を国会議員が評価する投票が行われた。投票の仕組みについて批判がある一方、結果は党中央人事にも影響を与えるとの観測もある。

1 国会・政府等の高位役職者に対する信任投票と「信任度投票」

近年、ベトナムの国会は、審議機能の強化とともに、政府活動への監視の制度化を図っており、本会議中に首相や閣僚（注1）に対する国会議員による直接質疑を実施する仕組み等が整備されてきた。また、国会が選出又は人事を承認した高位役職者に対する信任投票の規定が、2001年の憲法改正で盛り込まれ、2013年制定の新憲法にも引き継がれている（第70条第8項）。国会組織法は、この信任投票について、国会常務委員会（国会議長を長として国会の高位役職者で構成される常設委員会）又は議員総数の2割以上の議員が提案する場合に実施し（第12条）、議員総数の過半数の信任が得られなかった者は、所定の手続きによって罷免されるとしている（同第88条第2項）。

2010年、国有企業グループ・ビナシンの大型経営破綻、対中関係や環境問題が絡む中部でのボーキサイト開発事業問題などを契機に、政府の活動とその責任に対して、国会議員からの厳しい指摘が相次いだ。ビナシン問題では、実現には至らなかったが、国会議員から、首相と関係閣僚に対する信任投票の実施が提案された。

こうした流れを受けて、2012年11月20日、国会は、国会・政府等の高位役職者に対する定期的な信任投票に関する決議第35号を採択した（注2）。同決議は、憲法が定める「信任投票」（bỏ phiếu tín nhiệm）とは異なる、「信任得票」（lấy phiếu tín nhiệm）という概念を用い、「高信任」、「信任」又は「低信任」のいずれかを国会議員が毎年投票し、各役職者の信任度を確認するとした（本稿では「信任度投票」と訳す）。投票対象は、正副国家主席、正副国会議長、国会の各小委員会委員長、正副首相、閣僚、最高人民裁判所長官、最高人民検察院長官等、約50名である。投票は無記名で行われ、1回の投票で議員総数の3分の2以上又は2年連続で議員総数の過半数が「低信任」とした場合、信任か不信任かを選択する信任投票が実施される。なお、同決議の内容は、2014年11月20日に改正された国会組織法（2016年1月1日施行）に盛り込まれた。

2 「信任度投票」の結果

「信任度投票」は2013年と2014年の2度行われている（表参照）。いずれの投票でも、「高信任」得票数上位者は国家主席と国会の役職者で占められ、他方で、「低信任」得票数上位は、政府高官で占められた。2013年の投票では、ズン首相が、210票の「高信任」を得つつも、160票の「低信任」を得て、国会議員からの厳しい評価が示された（2014年の投票では、「高信任」320票に対し、「低信任」は68票にとどまった）。

表:「信任度投票」の結果

2013年		2013年6月10日投票、対象者47名、議員総数498名、投票者数492名			
「高信任」得票数上位3名		高信任	信任	低信任	無効/欠席
グエン・ティ・キム・ガン	国会副議長	372	104	14	8
チュオン・ティ・マイ	国会社会問題小委員長	335	151	6	6
チュオン・タン・サン	国家主席	330	133	28	7
「低信任」得票数上位3名		高信任	信任	低信任	無効/欠席
グエン・ヴァン・ビン	中央銀行総裁	88	194	209	7
ファム・ヴ・ルアン	教育訓練大臣	86	229	177	6
グエン・タン・ズン	首相	210	122	160	6
2014年		2014年11月15日投票、対象者50名、議員総数497名、投票者数485名			
「高信任」得票数上位3名		高信任	信任	低信任	無効/欠席
グエン・ティ・キム・ガン	国会副議長	390	86	9	12
チュオン・タン・サン	国家主席	380	84	20	13
チュオン・ティ・マイ	国会社会問題小委員長	365	104	13	15
「低信任」得票数上位3名		高信任	信任	低信任	無効/欠席
グエン・ティ・キム・ティエン	保健大臣	97	192	192	16
ホアン・トゥアン・アイン	文化・スポーツ・観光大臣	93	235	157	12
グエン・タイ・ビン	内務大臣	98	233	154	12

注 次のURLの情報から筆者作成 <<http://vnexpress.net/su-kien/ket-qua-lay-phieu-tin-nhiem-2013/>>,
<<http://vnexpress.net/su-kien/ket-qua-lay-phieu-tin-nhiem-2014/>>

3 「信任度投票」への批判と投票の効果についての観測

同投票については、無記名投票であること、信任・不信任の二者択一ではないことに、国会議員からも批判がある。無記名投票の理由は、国会議員が無用な圧力にさらされずに投票するためとされているが、国会議員の投票行動を選挙民が確認できないとの異論が出ている。また、二者択一ではないので効果がないとの厳しい意見がある一方、同様の投票は、今後、共産党中央委員会総会でも実施される見通しで、同総会で採択される新しい人事でも考慮されるとみられるその投票に、国会での投票結果が影響するとの観測もある。特に2年連続で「高信任」得票数最多となったガン国会副議長（党中央委員）の処遇が注目される（注3）。

注(インターネット情報は2014年12月11日現在である。)

- (1) ベトナムでは、首相は国家主席（国会が国会議員から選出する元首）の提案に基づき国会が国会議員の中から選出し、閣僚（国会議員に限らない）は首相の指名に基づき国会が承認する（憲法第70条、第88条及び第98条）。
- (2) 同決議では、地方議会である人民評議会が実施する、同評議会の選出又は承認に基づく役職者への信任投票についても規定しているが、本稿では省略する。
- (3) “Vi sao họp kín về lấy phiếu tín nhiệm? (なぜ信任度投票は秘密投票?)” *BBC*, November 12, 2014, <http://www.bbc.co.uk/vietnamese/vietnam/2014/11/141112_phamthiloan_confidence_vote>; “Thấy gì từ kết quả 'tín nhiệm' 2014? (2014年「信任」結果から何を見る?)” *BBC*, November 16, 2014, <http://www.bbc.co.uk/vietnamese/vietnam/2014/11/141115_vn_confidence_result_views>等。